

脳卒中急性発症時の判断と対応の学習ツール
目的と流れについて

1 目的

平成 27 年度の脳卒中発症時対応状況調査アンケート結果から、施設内職員への脳卒中発症時の症状と対応方法の周知について、外部の研修会参加は少数であったこと、また、周知が行えていない理由は「時間が無い」「指導できる人がいない」などによることが分かりました。

このことから、介護職をはじめとする介護保険関係施設従事者が、利用者の脳卒中発症時に一刻も早く症状に気づき、適切な対応をとれるよう、脳卒中発症時の症状と判断についての周知が南渡島圏域の介護保険関係施設内で促進されることを目的とし、作成しました。

2 学習の流れ

(1) 構成項目

	構成項目	所要時間	進行者用資料	テキスト
I	FAST について知識を学ぶ	(約 10 分)	P 2 ~ 4	P 1 ~ 5
II	A~C いずれかの方法により、発症時に遭遇したときの危機感や職員としての責任感を感じてもらう A 過去に施設内で脳卒中を発症した症例について、発症前後の様子を含めた症例発表 B 脳卒中の架空例の読みあわせ (テキスト P 6 ~ P 7) C 動画視聴* ※インターネット → http://jsa-web.org/ 日本脳卒中協会の HP 上右側「脳卒中が疑われたら、すぐに救急車を！」の下、「啓発動画 (発症時対応篇)」をクリック	(約 5 分)	P 4	【B のみ】 P 6 ~ 7
III	グループワーク① < II の感想、対応の是非について > II に対して個々に感じた思いや、対応の是非を共有する。	(約 10 分)	P 5	P 8
IV	グループワーク② < III を踏まえて、今後に向けた検討 > 今後、どのような事が必要か、なにが出来るかを検討する。	(約 10 分)	P 5	P 8
V	現場で活用していく。			
VI	新しく入った職員等を含めて、研修を繰り返す。(I ~ を繰り返し実施する。)			

※ I ~ IV までを 1 回で実施。進行者が進行者用資料により学習会を進行する。

3 その他

本学習ツールについての意見を把握することを目的に、後日連絡させていただく場合がありますので、御協力くださいますようお願いいたします。